

# 赤潮警報(第2報:区域拡大)

平成23年(2011年)8月25日  
山口県水産振興課

漁業者の皆さんへ

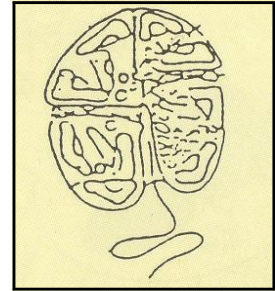
## 広島湾及び大島水道で魚介類をへい死させる カレニア ミキモトイ が発生しています!

発 生 日: 平成23年8月22日(月)

発 生 海 域: 岩国市沿岸

赤潮構成種: カレニア ミキモトイ (*Karenia mikimotoi*)  
(好適水温 22~27°C、好適塩分 20~30psu)

着色海域の色: 暗褐色



大きさ 25~35 μm × 23~33 μm

調査結果:

観測場所	細胞数	備 考
神代漁港	65,000 個/ml	8月24日 水温27.2°C
三浦漁港	20,000 個/ml	8月24日
由宇漁港	4,900 個/ml	8月24日 水温27.3°C
藤生漁港	2,050 個/ml	8月24日 水温28.1°C
相の浦漁港	1,800 個/ml	8月24日 水温26.2°C
県漁協柳井事業所前	733 個/ml	8月24日
下田漁港	700 個/ml	8月24日

■本種の赤潮では、以下の濃度が目安となっています。

●赤潮注意報密度 500個/ml ●赤潮警報密度(魚類へい死目安) 5,000個/ml

- 本種は過去、本県で最も大きな漁業被害が発生したプランクトンです。
- 本種は中層・底層を中心に増殖し、パッチ状になって上下動を繰り返すことから、海面からの観察では海水の着色が判別しにくいプランクトンです。
- このため、海面が着色していなくても、魚介類のへい死を起こすことがありますので、十分に注意して下さい。
- 今後は、漁港内での漁獲物の蓄養は避けて、活け×出荷等の対策を講じてください。また、養殖魚等は深い生け簀を活用し、赤潮発生時には代謝を抑えるために餌止めをし、早期出荷などの対策も検討してください。

なお、県としましては、引き続き調査を実施して参りますので、赤潮の発生などが確認された場合は、漁協を通じて関係市・水産事務所に速やかに通報してください。

\* 県内の赤潮情報については、海鳴りネットワークのホームページでもご覧いただけます。  
以下のアドレスにパソコンからアクセスして下さい。

→ <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/gyosei/suisan-s/uminari/9/index.htm>

# 赤潮警報(第2報)に係る赤潮プランクトン観測場所【参考図】

